

令和6年度 部活動 活動結果

秋季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

運 動 部

陸上競技部

秋季総合体育大会結果

男子 110mH 5 位 16.19 山根仁嵐

男子 400mH 6 位 58.14 馬場一幸

7 位 58.16 山根仁嵐

男子 4×400mR 5 位 3.28.19

馬場一幸・中野瑛太郎・山根仁嵐・堂山将汰

男子 棒高跳 3 位 2.90 田中海翔

男子 走幅跳 3 位 6.64 中野瑛太郎

女子 砲丸投 7 位 藤井未央

講評

本大会は今年度のトラックレース最後の大会であり、今年度どれくらい力を付けることができたかを知り、来年度につなげる大会であった。

大会においては、自己ベストを出したり、初めて決勝に進出することができたりした選手がいた一方で、思うようにパフォーマンスができなかったり、故障で大会に出場できなかったりした選手もいた。総じて元気よく一生懸命に取り組み、仲間と支えあいながら頑張ることができた。

本大会で感じたことや考えたことを大事にして、厳しい冬の練習を仲間と力を合わせて乗り越え、来年度の大会で悔いの残らない走り、跳び、投げとなることを期待したい。（顧問より）

バドミントン部

結果

【男子団体戦】

VS 虎姫 0－5 負け

【女子団体戦】

VS 幸福の科学関西 1－4 負け

講評

新チームとして2度目の団体戦。夏休みから取り組んできた課題を克服し、実力を発揮するために、それぞれが高い意識で臨むことが出来た大会だった。試合は、惨敗した。しかしチームの雰囲気は以前よりも遥かに良い。負けたことで収穫もあった。それぞれが成長を目指して、今後さらに練習に励んでもらいたい。2年生は引退まで、出場できる団体戦はあと1回である。悔しさをバネに次のステージに進んで欲しい。（顧問より）

バスケットボール部 男子

結果

Ⅰ 回戦

石部

58

7	—	17
13	—	16
23	—	22
15	—	24

甲西

79

講評

前大会で3年生が引退し、新チームで挑んだ秋季大会。ベスト8入りを目標に、部員一同練習に励み、甲西高校とのⅠ回戦に臨んだ。日頃の練習の成果を発揮することができ、チーム石部らしい戦いをすることができた。中盤には追い上げを見せたが、序盤に許したリードが響いてしまい、痛い敗戦となった。

今回の大会で見つけた課題、反省点を明らかにし、次の大会に向けてより一層練習に励みたい。

(顧問より)

卓球部

結果

男子学校対抗

堅田高校に0—3負け

男子ダブルス

大川・田中組 Ⅰ回戦敗退

安藤・平野組 3回戦敗退

男子シングルス

大川 翔真 2回戦敗退

安藤 千真 2回戦敗退

平野 豊 2回戦敗退

田中 李和 2回戦敗退

講評

初日のシングルスは全敗、2日目の学校対抗も全敗であった。人数が少なく、練習には全員揃わないことも何度もあった。チームの若さによる積み上げの量が試合内容にそのまま現れたような結果であった。我慢の展開が続く中で、惜しくも勝利を逃した試合が日々の取り組みを見直すきっかけになった。苦しい状況の中、ダブルスで勝利を挙げられたことはチームとしていい経験である。生徒も次を見据えた表情をしていた。(顧問より)

硬式野球部

令和6年度春季近畿地区高等学校野球滋賀大会

結果

連合(石部・栗東・信楽)対 比叡山

0 — 10 (6回コールド)

講評

内外野の守備に大きなミスはなかったが、四死球に長打が重なり決定打となり、6回コールド負けになった。打力向上に課題が残る大会となった。(顧問より)

テニス部

結果

男子シングルス予選

宮嶋 6 - 3 玉川 2回戦勝利
1 - 6 膳所 3回戦敗退
出口 6 - 1 能登川 1回戦勝利
0 - 6 膳所 2回戦敗退

男子ダブルス

田中・宮嶋 6 - 2 近江兄弟社
1回戦勝利
4 - 6 水口東
2回戦敗退

講評

男子シングルス

共に初戦は勝てたが、2回戦は最大限の力を尽くしたものの、リードされ敗退した。今大会に向けて、練習で個々の課題に取り組んだ結果は発揮できた。3月の県ジュニアに向けて、サーブ・ラリー等の精度を上げていきたい。

男子ダブルス

初戦は勝てたものの、2回戦ではあと一步届かず敗退した。今大会、田中・宮嶋は初めてダブルスを組み、それぞれの役割を果たすことができた。特に、ボレーや前衛のカバーはできたのが今大会の収穫であった。次の12月のダブルスに向けて、個々の課題を克服していきたい。(顧問より)

結果

女子シングルス予選

大宮 6 - 2 大津 1回戦勝利
0 - 6 光泉カトリック
2回戦敗退
福井 2 - 6 国際情報
1回戦敗退
立川 1 - 6 守山 1回戦敗退

女子ダブルス

大宮・福井 6 - 0 膳所
1回戦勝利
1 - 6 守山
2回戦敗退

講評

女子シングルス

夏の大会後、サーブではスライスサーブを取り入れ、ストロークではコースの打ち分けを練習するなどレベルの高いことが出来るようになってきた。本番ではミスが重なると焦りから流れを戻すことが出来ず、残念ながら本線には進めなかったが、今後気持ちのコントロールも含めてトレーニングをおこない、本番で実力を発揮する力を養いたい。1年生も公式戦という緊張の中、自信を持って打ち返せるようになってきたが、動きながらの返球など課題を克服し、次回に向けて頑張りたい。

女子ダブルス

初戦は安定してミスの少ない試合展開を繰り広げ、1ゲームも落とすことなく勝ち進んだ。2回戦は長いラリーで先にミスをする場面が多く、流れをつかむことが出来なかった。チャンスボールを積極的に打ち込みにいけたことなど、力を発揮出来た点もあった。次回の大会までには、試合の流れを感じて、試合中にペアで話し合い作戦を立てられるよう成長を期待したい。(顧問より)

バレーボール部 女子

結果 予選リーグ戦

石部	長浜北西
2	0
2 5 — 2 2	
2 5 — 2 2	

決勝トーナメント戦

石部	滋賀短期大学付属
0	2
4 — 2 5	
5 — 2 5	

講評

春季総体の悔しさから攻守ともにレベルアップを目指し、挑んだ試合であった。粘りのレシーブと攻め返すことに磨きをかけてきたことから、大事な場面で1点を取り切り、勝利を収めることができた。決勝トーナメントでは、思うようなプレーをすることができなかったが、次のレベルに向けて新たな気づきを得ることができた。今大会で3年生は引退となるが、ここまで石部高校バレー部のプレースタイルを引き継ぎ、育ててくれた。下級生がまた新たなバレースタイルを築き上げてくれることに期待する。

(顧問より)

文 化 部

吹奏楽部

第45回滋賀県高等学校総合文化祭吹奏楽部門

結果

賞のある大会ではないが、次年度の全国高等学校総合文化祭に出場する県代表の選考にエントリーできる。本校は小編成の団体としては唯一エントリーしたが、代表を逃した。

講評

滋賀県吹奏楽連盟会長と関西吹奏楽連盟理事長より講評をいただいた。

「少人数の編成でしたが、丁寧に繊細に演奏できていました。ハウルの曲の各エッセンスを取り入れた構成になっており、各々の色を出そうと工夫されていたと思いますが、さらに説得力（印象づけ）があると良かったです。丁寧さを意識したのか、全体に息が使えていないようだったと思います。」

「12人と少ないメンバーですが、表現したいことは伝わってきました。メロディーラインと伴奏とのバランスに注意して演奏しましょう。マリンバ等でハーモニーをプラスするとよいと思います。」

口頭で、「今までの路線と大きく変えて、繊細で丁寧な一面を見せてきましたね」「曲の山場を作るために、ダイナミクスの変化はもう少しあるとよい」というコメントもいただいている。

(顧問より)

放送部

第45回滋賀県高等学校総合文化祭 放送部門

結果 朗読部門

アナウンス部門2名

朗読部門1名参加

入賞ならず

講評

全員、大きなミスはなかったが、声量・速さなどで改善すべき点多かった。入賞はできなかったが来年度はもっと上を目指したい。(顧問より)